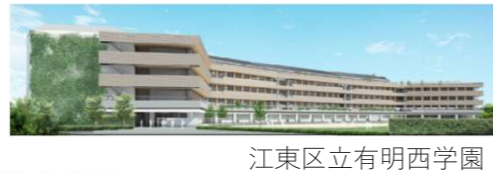


<義務教育学校について>

1 義務教育学校とは

- 平成27年度に制度化、平成28年度より全国各地で開校。
- 令和2年度現在、121校（公立）
- 小学校1年生から中学校3年生までの義務教育9年間を一貫した教育
- 学校施設は「一体型」「隣接型」「分離型」の3パターン
- 学年編制は「5-4年制」「4-5年制」「4-3-2年制」「分けなし」など、さまざま。



2 義務教育学校のメリット

- 【学年編制】** 6-3年制にとらわれない自由な学年編制によるきめ細かな教育を実現！
- 【教育課程】** 柔軟な教育課程の編成によりSDGs教育やSTEAMS教育など、特色ある教育を推進！
- 【一貫した指導】** 9年間一貫の教育によるメリットを最大化し発達段階に応じたきめ細かな指導を実現！
- 【異学年交流】** 活発な異学年交流により、児童生徒の社会的なコミュニケーション能力を育成！
- 【教育環境】** 学校の適正配置や学校施設の合理性向上とともに、持続可能で質の高い教育環境を整備

義務教育学校は、教育の質の向上を図るとともに、教育の質的転換を実現！

4-3-2年制による学校生活

義務1年～4年 学びの基礎固め
義務5年からの教科担任制と義務7年への種々な履修し個性を伸ばし、学ぶ意欲の向上
義務8、9年の教科横断的学びと地域・大学・企業等との連携

教科横断的な学びの充実 ICT教育の更なる推進 地域・企業等との連携
他者と協働しながら新たな価値を創造する力の育成

9学年合同の学校行事や地域と学校の一体的な活動 豊かな人間性 共感力の育成

3 義務教育学校設置に向けて

さいたま市教育委員会では、義務教育学校の設置を含め、地域の声を聞きながら、学校の実情に応じて魅力ある学校づくりを進めているところです。

地域に最適な学校の在り方について、新しい時代における義務教育の在り方、地域の特色を生かした教育課程等、様々な観点から多角的に検討してまいります。

義務教育学校の設置イメージ



沼影公園の現状と課題

施設概要	内容	備考
設置日	当初開設 S46.7.1	都市計画決定 S46.3.30
面積	24,211㎡	うち都市計画決定10,000㎡
機能	屋外プール(夏季) 屋内プール(通年) アイススケート(冬季) 卓球場 カルチャー教室	
現状	年間平均(過去6年間)	推移・備考
利用人数	約21万7千人	やや減少傾向
利用料収入	約5千万円	やや減少傾向
修繕費	約3千2百万円	今後も継続的な修繕が必要
維持管理費(指定管理料※)	約1億5千4百万円 (R1:約1億1千2百万円)	やや増加傾向 (指定管理期間 R1~5)
その他	R2~3で配管等改修工事中	

【現況】



【計画】



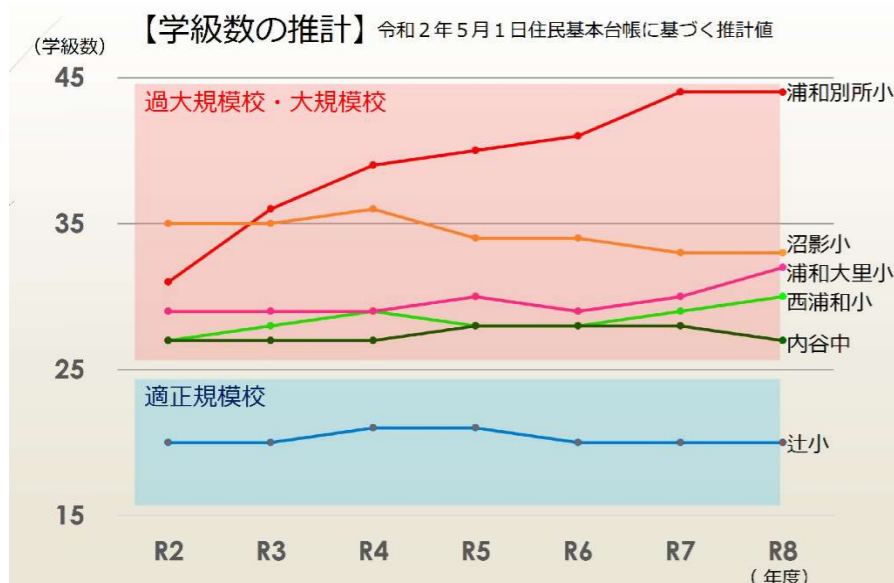
今後、体育館等のスポーツ施設を新設することを前提に、沼影小学校解体後の跡地利用を検討していくこととしたい。

解体(廃止)に伴う課題と解消に向けて

- 都市計画決定の解除 …都市計画法第21条関連
→ 原則として同規模の都市計画決定が必要
- 不足する公園用地の確保(2.4ha) …都市公園法第16条関連
→ 公園廃止までに、南区(もしくは南部地域)を前提とし、不足する公園用地の代替地を確保する必要がある
※先行して旧教職員住宅跡地(0.2ha)を取得に向け、協議を開始する
- レジャープールの方向性の整理
→ 市民の意向や、社会情勢・財政的な観点などを勘案した上でレジャープールの存続・廃止等、今後のあり方について、検討する
- 地元関係者(利用者・市民等)への説明・合意形成

<武蔵浦和駅周辺地区新設校建設事業>

武蔵浦和駅周辺地区学校における学級数の推計



スケジュール

